

# 有限会社廣安瓦建材

## 2017年度 環境活動レポート

(対象期間：2017年 7月～2017年 9月)



発行日：2017年11月15日

# ごあいさつ

有限会社廣安瓦建材は、平成2年の設立以来、屋根工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

## 環境方針

当社は、屋根工事業において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全従業員一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業活動を行う上で環境への負荷の低減、環境保全に努めます。
3. 電力・燃料使用量（ガソリン・軽油・灯油）の削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減を推進します。
4. 一般廃棄物排出量の削減、産業廃棄物の分別を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. グリーン購入を推進します。
7. 廃棄物再生利用のガーデニング資材（きびテコラ：廃瓦を粉砕した瓦チップ）の拡販を推進します。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2017年6月20日

有限会社廣安瓦建材

代表取締役社長

廣安 治

## □組織の概要

- 1) 名称及び代表者名  
有限会社 廣安瓦建材  
代表取締役 廣安 治
- 2) 所在地  
本社・倉庫 〒709-2121 岡山県岡山市北区御津宇垣1 3 番地 5  
資材置き場 〒709-2121 岡山県岡山市北区御津宇垣223
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者： 代表取締役 廣安 治 TEL : 086-724-3290  
担当者： 廣安 弘枝 FAX : 086-724-2897  
E-mail : hiroyasu-r@mx4.et.tiki.ne.jp
- 4) 事業内容  
屋根工事業  
岡山県知事許可(般-24) 第16959号
- 5) 設立 平成2年7月5日
- 5) 資本金 300万円
- 7) 事業の規模  
年間工事完成高 11,480万円 (2016年度)

		本社	倉庫	資材置き場
従業員 (人)		6	無人	無人
延べ床面積 (㎡)		65.66	146.51	432

エコアクション21対象従業員数 6名

- 3) 事業年度 7月～翌年6月

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社廣安瓦建材  
対象事業所： 本社・倉庫，資材置き場  
対象外： なし  
活動： 屋根工事業



## □環境負荷の実績

※事業年度：7月～6月

※二酸化炭素排出係数 中国電力2015年度 0.697(kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

項目	単位	2016年度 基準年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	35,518			
電力	k Wh 対基準	9,295			
ガソリン	L 対基準	6,354			
軽油	L 対基準	4,355			
灯油	L 対基準	1,147			
廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg	実績不明			
産業廃棄物の分別	総排出量	t	298		
	リサイクル量		111		
	リサイクル率	%	37		
総排水量	m <sup>3</sup> 対基準	310			

※電力は本社・倉庫、資材置き場、動力破砕機の合計で示す。

## □環境目標

※事業年度：7月～6月

※二酸化炭素排出係数 中国電力2015年度 0.697(kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

項目	単位	2016年度 基準年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	35,518	35,163 △1%	34,808 △2%	34,452 △3%
電力	k Wh 対基準	9,295	9,202 △1%	9,109 △2%	9,016 △3%
ガソリン	L 対基準	6,354	6,290 △1%	6,227 △2%	6,163 △3%
軽油	L 対基準	4,355	4,311 △1%	4,268 △2%	4,224 △3%
灯油	L 対基準	1,147	1,136 △1%	1,124 △2%	1,113 △3%
廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg	実績不明	現状調査 実績把握	計画立案 実行	計画立案 実行
産業廃棄物の分別	総排出量	t	298		
	リサイクル量		111		
	リサイクル率	% 対基準	37	39 +2%	41 +4%
総排水量	m <sup>3</sup> 対基準	310	307 △1%	304 △2%	301 △3%
事務用品グリーン購入	件	実績不明	実態調査	目標設定 取組開始	目標設定 取組推進
産業廃棄物の再利用の推進	t 対基準	82	84 +2%	86 +4%	88 +6%

※電力は本社・倉庫、資材置き場、動力破砕機の合計で示す。

## □環境負荷試行運用期間の実績

※二酸化炭素排出係数 中国電力2015年度 0.697(kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

項目	単位	試行運用期間における実績 (2017年7月～9月)				
		2016年 7月～9月 基準値	目標	実績	達成度	評価欄
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	7,861	7,782	9,127	86%	×
電力	kWh 対基準	2,071	2,050	2,373	87%	×
ガソリン	L 対基準	1,645	1,629	1,711	96%	×
軽油	L 対基準	990	980	1,334	74%	×
灯油	L 対基準	—	0	—	—	—
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg 対基準	実績不明	現状調査	47	—	—
産業廃棄物の分別	総排出量	t	30	—	105	—
	リサイクル量	t	3	—	26	—
	リサイクル率	% 対基準	10	39	25	64%
総排水量	m <sup>3</sup> 対基準	79	78	81	96%	×
事務用品グリーン購入	件	実績不明	実態調査	5	—	—
産業廃棄物の再利用の推進	t 対基準	3	3	26	867%	○

※電力は本社・倉庫、資材置き場、動力破碎機の合計で示す。

○：達成、×：未達成



**使用例**

- ランドスケープ**  
庭園や緑地の防草・保水に
- ガーデニング**  
雑草の防草効果・植物の乾燥防止に
- 住環境**  
エントランス・駐車場・犬走り
- 園芸**  
インテリアグリーン・土壌の活性化に

道路と家との境のガーデンスペースに5~10mmを敷きました。

道路中央の歩道に砕石の厚み15~25mmを敷きました。

園芸に活用するために15~25mmを敷きました。

高層クラブに敷く際のクッション材として9~5mm程度のものを敷きました。

敷地の防草層材として15~25mmを敷きました。

地区の集合歩道のスロープに滑り防止スロープとして5~10mmを敷きました。

二軒家路の側にぬかるみ防止に防草材として15~25mmを敷きました。

## □環境活動計画の取組結果とその評価

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	実施状況	評価結果
<b>電力使用量の削減</b> (目標未達成)		
・空調温度の適正化	△	例年より空調を使うことが多かったため、再度徹底を図る。 不要照明の消灯が不十分だったので再度徹底を図る。
・不要照明の消灯	△	
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標未達成)		
・アイドリングストップ	△	普段より安全運転に注意しているが、今後もエコドライブを意識した運転の徹底を図る。 もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 定期的に点検をしているので、引き続き継続する。
・急加速・急停車の抑制	△	
・移動コースの効率化	△	
・空気圧、オイル等の点検	○	
<b>軽油使用量の削減</b> (目標未達成)		
・アイドリングストップ	△	普段より安全運転に注意しているが、今後もエコドライブを意識した運転の徹底を図る。 もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 定期的に点検をしているので、引き続き継続する。
・空気圧、オイル等の点検	△	
・移動コースの効率化	△	
・空気圧、オイル等の点検	○	
<b>灯油使用量の削減</b> —		
・室内温度の適正化	—	運用期間で灯油使用量なし。灯油使用時期には使用量削減に努める。
・部屋解放の禁止	—	
・不在時点火の抑制	—	
<b>一般廃棄物の削減</b> (実態調査中)		
・分別によるリサイクルの推進	○	現状調査・実績把握をしながら、分別によるリサイクルの推進を図る。
・ミスコピーの防止	○	
・コピー機使用後の設定リセット	○	
・文書の電子化、資料のペーパーレス化	△	
<b>産業廃棄物の分別の推進</b> —		
・産業廃棄物の分別の徹底	○	受注状況に左右されることではあるが、引き続き分別を徹底し廃棄物の削減に努める。
<b>水道水使用量の削減</b> (目標未達成)		
・節水の周知徹底(節水シール貼付、ポスター掲示)	○	節水シール等を掲示した結果、意識が向上しており、期間中の目標は未達であるが、年間で達成できるよう節水活動を継続する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	
<b>グリーン購入の推進</b> (実態調査中)		
・事務用品の購入対象品目調査	○	実態調査を継続し、エコマーク商品の購入に努める。
・来年度以降の目標設定	○	
<b>産業廃棄物の再利用の推進</b> (目標達成)		
・廃棄物の削減と再利用として廃瓦のチップを生産し、ガーデニング資材として販売推進する。	◎	販売促進に努めた結果、大幅に目標を達成できた。引き続き周知PR販売に努める。

## □環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規制などの名称	遵守する事項(対応すべき事項)	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正な処理	遵守
	産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	
	保管基準	
	マニフェストの交付、返送期日の管理、保存	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止	該当なし
	保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
浄化槽法	保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	該当なし
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	該当なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。  
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し

当社がエコアクション21の導入を決め、平成29年7月から環境活動を開始し3か月が経過した。取組を始めたばかりなので、社員全員に環境活動に対する意識の向上、環境活動を徹底するよう教育・指導に努める時期だと考える。

燃料消費量は受注現場までの距離等に影響するが、引き続きアイドリングストップなどエコドライブを心掛け効率的な運行で燃料消費量の削減に努めるよう指導していきたい。

産業廃棄物についても総量を削減することは工事の種類や工事量により難しい面もあるが、目標をクリアできるように分別を徹底し廃棄物の削減や再利用の促進に努めることが重要と考える。

当社は建設業という受注産業の為、燃料・廃棄物などの量は流動的になるが、本社の固定的な部門においては、より努力をして二酸化炭素排出量・水使用量の削減、コピー用紙の裏紙使用、不要電気の消灯など様々な項目の取組に努めてほしい。今後もエコアクション21の活動を推進し、より一層省エネ・環境保全に努力し、環境目標の達成に努めていくことを期待する。エコアクション21の目標と活動計画は現在そのまま継続していく。

2017.10.31



代表取締役 廣安 治

# きびテコラ 環境リサイクル瓦 Tecora

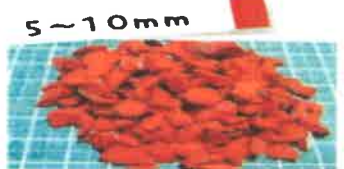
### 施工の流れ



### サイズと適している用途



めかるみ防止、また花壇内、アプローチなど広い面積に施工するのにも適しています。



建築資材の骨材や植物の、水分調整に適しています。



防草効果を高めるための下地材や、植物の周り、グラウンド用の透水性土などとして適しています。